

神奈川県身体障害者連合会会報

身障かながわ

発行 (公財)神奈川県身体障害者連合会
 会長 戸井田 愛子
 〒221-0844
 横浜市神奈川区沢渡4-2
 電話 045-311-8736 FAX 045-316-6860

編集 「身障かながわ」編集委員会
 編集委員長 新井修身

印刷 株式会社 あんざい

- 県身体障害者連合会長新年あいさつ……………①
- 台風被害について思うこと……………②
- ふじさわパラスポーツフェスタについて……………③
- 中井町身体障がい者福祉協会も活動について……………③
- 県身連事業案内・報告……………④
- 矢倉沢往還と下鶴間宿……………⑤
- 神奈川県視覚障害者福祉大会の報告……………⑤
- 私とスポーツ……………⑥
- 県身連事業予定(1月～4月)……………⑥
- 編集室から……………⑥



《撮影場所：二宮海岸》 提供：相原みどり（二宮町）

神奈川県身体障害者連合会 会長 戸井田 愛子 といた あいこ

謹んで、新春のお喜びを申し上げます。
 皆様におかれましては、お揃いでよいお正月をお迎えのことと存じます。

旧年中は、県身連の円滑な事業運営に地域団体を始め、関係機関の皆様の協力をお借りいただき、心から感謝申し上げます。

障害者権利条約を踏まえた障害者差別解消法などの国内法整備が、障害者参画のなかで進められる今、二〇二〇年のオリンピック・パラリンピック東京大会を契機として、障害者権利条約の理念を踏まえ策定した「ユニバーサルデザイン二〇二〇行動計画」が、障害者施策の一層の促進となるよう、当事者の声を発信し続けていく必要があります。

また、神奈川県が策定した「ともに生きる社会かながわ憲章」の精神により、障害を理由とする差別的禁止と合理的配慮が当たり前の事として受け入れられるように、神奈川県差別禁止条例の制定に向けた取組みが進められるとともに、災害時における障害者支援等に関するも、大規模災害での教訓が生かされた支援施策が講じられる事を強く訴えます。

県身連の運営につきましては、多くの課題を抱える中、役員一同で社会動向を踏まえながら適切に推進するよう、関係機関のご協力をいただきながら努力してまいりますので、地域団体の皆様の一層のご協力をお願いいたします。

終わりに皆様の益々のご発展とご多幸をお祈りいたしまして新年のごあいさつといたします。

「台風被害(十五号・十九号)について思うこと」

藤沢市 種田 多化子
たねだ たかこ

昨年の秋は地球温暖化の影響か、巨大台風が相次いで関東地方に接近して上陸しました。

台風一五号は九月五日に日本近海で発声して九日の未明に上陸して猛威を振るい、神奈川や千葉で強風が吹き荒れ、甚大な被害をもたらしました。

屋根が吹き飛び、電信柱が倒れ、電気が止まり、復旧に時間を要しています。すごい風の音で目が覚めてどうすることもできず、家ごと吹っ飛びそうでした。台風十九号は巨大勢力のまま接近してきました。上陸の前日、ホームセンターは人であふれ、ブルーシートは売り切れたそうです。台風十九号は各地で一〇〇年に一度の大雨が降り、河川が氾濫・決壊して多くの人命が失われ、甚大な被害をもたらしました。

藤沢市において、避難所に避難された方は台風十五号の時三五〇名、台

風一九号の時四六七五名だったそ

うです。肢体不自由の方で非難されたという話は聞いていません。ただ、台風十九号の時、一緒に活動している自閉症児・者親の会の方が自閉症の息子さんと避難勧告が発令され、息子さんと地域の防災訓練には欠かさず参加されていますが、息子さんの経験値が上がればという思いから、避難されたそうです。ただ、指定されている避難所に行くとか水害避難所ではないと言われ、雨のなか水害避難所に行かれたそうです。避難所では必要な配を聴いていただけで、個室で一晩過ごされたそうです。

台風十九号の時、避難勧告で避難する場合、雨はだいぶ激しく降っていました。避難準備高齢者等避難開始で避難する場合、雨は時折降っている状況でした。

避難する場合、どの時点でどこに避難するか、状況判断が重要になると思います。

開成町 遠藤 伸一
えんどう しんいち

十月の台風十九号では、神奈川県の県西地域の市町でも箱根町を始め暴風雨の影響で河川増水や土砂崩れ、停電、断水等が発生している。私の住んでいる開成町では小中学校や福祉会館で避難所を初めて開設して三〇〇人ほど避難されたそうです。

一月の参院国土交通委員会でも障害を持つ国会議員の方も災害時の障害者の避難について次のように、切実な訴えをしていた。『避難所に行っても、車椅子トイレがない、医療機器を使うための電源があるのかわからない、また知的障害を持つ子供を抱えた親が周りに迷惑をかけたくなくてということ、避難所に行くことを諦めてしまふ、瓦礫等で道を塞がれて車椅子では移動できず避難所に行けない方が多い』
『県西地域のすべての市町村で今回の台風で避難所を開設していたが、障害者の避難状況や実態はどうだったのか検証して今後の対応に役立ててほしいものです。』

一宮町 河原 雅浩
かわはら まさひろ

家屋の損害や浸水などの被害の情報にはなかったが、停電、断水により一時不自由な生活を強いられた聴覚障害者が何人かいたと聞いています。一番困ったのはやはり情報が伝わらなかったという事で、ある人は、断水の際、給水車が来るということを知らず、次の日になって近所の人から聞いて初めて知り、すぐに市の担当課に連絡して、給水の日程と場所の情報を共有していただいた。

停電してしまうと、メールも等も使えなくなってしまう為、聴覚障害者の安否の確認がなかなかできず、停電が解消された二日後にようやく連絡がつき、無事であることが確認できたという例もありました。

前から要望しているにも係わらず、災害時の聴覚障害者への情報提供についての配慮がほとんどなされていないことが改めてわかりました。今後、さらに聴覚障害者についての理解の普及と災害時の情報提供の方法の検討を進めていきたいと思っています。

市町村のページ

ふじさわパラスポーツ

フェスタについて

藤沢市 種田 多化子
たねだ たかこ

「ふじさわパラスポーツフェスタ」について、二年前の平成二九年一〇月一五日号に一度掲載しました。発行される頃には開催されて終了している予定でしたが、台風のため中止となってしまいました。

その後、引き続き、実行委員会形式で関係団体の方々と協議を重ねました。昨年度、平成三〇年度の八月には藤沢市の障がい者スポーツの環境整備、情報提供、普及啓発等の推進を旨として「藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会」が設立されました。そして、九月には念願の「ふじさわパラスポーツフェスタ」を開催することができました。さらに、令和元年の九月、来年のパラリンピックを見据えて体験種目を検討して、車いすで体験できる種目を増やして開催することができました。

心を持って来場して下さい方は少ないので秩父宮記念体育館のイベントと同時開催していただき、スタンプリーも実施して、来場者は昨年より増えて一〇〇〇人を超えました。

終了した後もパラリンピックの影響は続き、連絡協議会への加盟希望団体が出てきたり、パラスポーツイベントへの協力要請があったりして、活動が広がっています。

来年はパラリンピック本番の年、善行の県立スポーツセンターが、パラスポーツの拠点として整備され、藤沢市はポルトガルのホストタウンに決まり、交流して応援することになりました。



中井町身体障がい者

福祉協会の活動について

中井町 加藤 充一
かとう たかいち

中井町身体障がい者福祉協会は、今年で設立六十二年を迎えました。

中井町は、自然が多く残された里山として環境が良く、都心からも一時間ほどで来られる場所です。当協会は、足柄上郡の方々の連携も多く、交流を深めております。

その中の事業の一つとして、昭和五六年から大井町にあるボウリング場や足柄上郡五町の社協の協力により「足柄上郡身体障がい者ボウリング大会」を第三六回まで開催することが出来ました。

その後、平成三〇年度からは、「足柄上郡障がい者レクリエーション大会」へと名称変更し、令和元年十月二三日(水)に第二回目を開催しました。この大会は、足柄上郡5町の障がいをお持ちの方の社会参加を促進する活動の一環として、レクリエーションを通して交流の機会を提供し、親睦の輪を広げていくことを目的としています。

当日は、総勢六〇名以上の方が参加され、輪投げやボッチャなどを楽しめました。

また、十月三日(木)には、中井町社協主催による「第四回笑福会」が開催されました。

この事業は、「笑う門に福来る。一日を笑って明日も健康に過ごしましょう」という意味を込め、普段間近で見ることが出来ない演芸の鑑賞をさせていただいています。今年、「落語と民謡」をご披露いただき、中井町身体障がい者福祉協会、大井町身体障がい者福祉協会、中井町福祉関係団体のみなさまなど、約六〇名が楽しめました。



事業案内・報告

第六十四回神奈川県身体障害者福祉大会開催

令和元年十月六日(日)神奈川
県身体障害者福祉大会が横須賀
市文化会館を会場に六〇〇余名
の参加者が一同に会し盛大に開
催されました。

午前中の式典では、主催者を代
表して県身連戸井田会長、神
奈川県首藤副知事のあいさ
つ後、地元横須賀市の永妻副
市長から歓迎のことばがあり



続いて、県副知事及び県身連会
長より受賞者に対し、表彰が行
われました。

午後からは、ジョイフル・ブラ
ス・オーケストラによる演奏が
披露され、次回開催地(伊勢原
市)あいさつ、閉会のことばで
無事大会を終了しました。

神奈川県知事表彰 (敬称略)

- 自立支援功労者
白井 玲子 (横須賀市)
中台 和子 (伊勢原市)
- 県身連会長表彰 (敬称略)

- 表彰
白石 敏夫 (横須賀市)
阿比留陽子 (横須賀市)
山辺 正子 (逗子市)
市川 照芳 (相模原市)
高橋 紀夫 (秦野市)
寺本久美子 (大和市)
座間 京子 (座間市)
柳川 忠幸 (愛川町)
落合 智子 (愛川市)
辻村 巖 (真鶴町)

全国障害者スポーツ大会

いきいき茨城ゆめ大会

出発日前日の十七時頃、茨城県大
会本部から、台風十九号の影響で一
部競技の中止の連絡が入り、該当し
た競技の派遣はしない方向で決まり
ました。出発日、午前九時に茨城県
大会本部から、前日に引続き一部競
技の中止の連絡が入り、前日に中止
になった競技と同様に派遣しない方
向に決まった。茨城県の方から、午
前中に競技を実施するか否かの最終
決定を行うと連絡があり、バスの出
発時刻を三十分遅らせ、予定の十二
時三十分出発から十三時〇〇分出发
に変更しました。

結団式は定刻通り始まり、神奈川
県からは黒岩知事が出席し、激励の
言葉をいただいた。選手団からは、
代表して、戸井田団長より大会への
意気込みの挨拶をした。
一三時〇〇分に中止競技を除く選
手団が茨城県に向け出発しました
が、十三時三十分過ぎに大会全日程
中止の連絡が入り、宿泊するホテル
には向かわず、神奈川県へ引き返し
、横浜駅到着後、解散となった。

第十四回県障害者

スポーツ大会について

令和二年度の県障害者スポーツ
大会は、次の日程で開催致します。
また、ポッチャ競技が新たに正式
種目として追加になりました。身体
障害者対象の競技会ですので、周知
のご協力の程よろしくお願い申し上
げます。

- フライングディスク競技会
期日 四月十二日(日)
会場 県立スポーツセンター
- ボウリング競技会知的障害者
期日 四月十九日(日)
会場 湘南とうきゅうポウル
- アーチェリー競技会身体障害者
期日 四月十九日(日)
会場 県総合リハビリセンター
- 陸上競技会知的障害者
期日 四月二十六日(日)
会場 県立スポーツセンター
- 陸上競技会身体障害者
期日 五月一〇日(日)
会場 県立スポーツセンター
- 水泳競技会
期日 七月五日(日)
会場 さがみはらグリーンプール
- 卓球競技会精神障害者
期日 二〇二一年一月一五日(金)
会場 県立スポーツセンター
- 卓球・サウンドテーブルテニス競技会
(身体・知的障害者)
期日 二〇二一年一月一七日(日)
会場 県立スポーツセンター
- ポッチャ競技会
期日 二〇二一年二月二一日(日)
会場 県立スポーツセンター

さんぽみち

矢倉沢往還と下鶴間宿

大和市 桐戸 賢二

この原稿の依頼を受けた時、夏休みの終わりに溜まった宿題にうろたえた子供の頃を思い出した。「出来る訳ないじゃない、本当に馬鹿なんだから！」という妻の冷やかしを背に受けて、このピンチを何とか乗り越えるためにやつつけ仕事で切り抜けようと矢倉沢往還と下鶴間宿について書くこうと心に決めた。

家の前の道が矢倉沢往還であることは以前近所の石碑を見て知っていた。改めてその石碑を見に行く、それは家の前から東に行った交差点の脇にあり矢倉沢往還の名称と青山(港区)から矢倉沢(南足柄市)に至る江戸時代の古道で江戸時代に大山詣りに利用された事等の説明が彫られていた。

道端の枯れ葉や民家の色付く柿とみかんを眺めながらさらに東へ進むと、やがて道は下り坂となり坂の途中の左側に永禄一二年創建の鶴林寺の石段が見えてくる。

そのすぐ隣りに赤い旗が上まで続く急な石段の下鶴間不動尊があり、これからの急な石段が矢倉沢往還

からの本来の参道のようだ。

さらに先へ進み坂を下り終えた辺りに目黒川という小さな川があり、その脇にある目黒公園は桜に囲まれた花見スポットになっている。目黒川を渡った右側に下鶴間宿の名残をとどめる下鶴間ふるさと館があり、古民家や高札場といった遺構を見ることが出来る。

この辺で宿題の文字数は足りそうなので散歩を終わるが、この散策で感じた事は初めに道を通し街を作った先人達の偉大さに感謝を忘れてはいけないこと、江戸から大山迄歩いたであろう先人達の体力と精神力に敬意を払おうとともに自分も強く生きねばと思った。



みんなの広場

神奈川県視覚障害者

福祉大会の報告

座間市 新井 修身

この事業は毎年六月末に県内各団体持ち回りで開催している行事で、この大会の趣旨は 県内の視覚障害者が一堂に会し、日ごろの問題に対して意見交換を行なう事により、視覚障害者も共に暮らせるバリアフリー社会と、差別のない共生社会の実現と合理的配慮の充実をめざすと共に、会員相互の親睦・交流を深めることを目的としています。

今年度は六月三〇日に第二〇回大会を 伊勢原市で開催しました。当日の参加者はNPO法人神奈川

県視覚障害者福祉協会加盟団体より、会員・付き添い・ボランティアなどの関係者並びに一般県民や記念講演聴講希望者など約二〇〇名でした。

では大会の内容を少し紹介します。一二時三〇分開会式典。此処では、主催者を代表し鈴木理事長挨拶、伊勢原市長の歓迎の言葉、伊勢原市議会議長、県議会議員など来賓の皆様から御挨拶を頂きました。そして、一三時から全体会議。

此処では議長団の選出、日程説明、分科会設置、分科会は、第一分科会生活。第二分科会バリアフリー。第三分科会職業。第4分科会ロービジョン。の四分科会に分かれ地域団体から提出された議題を審議しました。

十四時四五分から記念口演。テーマは、「紙幣や貨幣を使わない電子マネー決済の利便性と課題を考える」講師 合同会社 みんなの手代表清水康弘氏。

十五時三十五分より全体会議。此処では各分科会報告の後大会宣言、大会決議を採択し十六時に終了しました。

なお、各分科会の提出議題は採択され、行政関係・バス鉄道関係などへ要望書として提出した。

私とスポーツ

藤沢市 佐々木 啓介

私は中学2年生の時に交通事故に遭い、脳を外傷しました。後遺症として右手と口の動きに障害があります。

事故前から陸上競技部に所属していましたが、障害を持った後は、記録が他人よりも劣ってしまい、何度か部活動をやめようと迷っていたことがあります。しかしそんな自分を支えてくれたのは顧問の先生、そして部の仲間でした。部員と共に陸上を続けることで、支えてくれる人の

大切さに気付きました。またともに助け合うことの大切さを知りました。顧問の先生の「ライバルは自分自身」という言葉を胸に目標に向かって、頑張ろうという決意を固めました。その結果、高校2年生の時に事故前よりも速い記録を出すことが出来ました。努力することの重要性を身を持って感じる事が出来ました。

大学に入學してから障害者スポーツのことを知りました。健康な人と走り続けていた私にとって障害者スポーツは自らの可能性を広げられる場所であると思い、出場しました。今までの成果もあり、1000mと1500mで2冠、共に大会新記録を樹立しました。また障害を持った人やサポートしてくれる人々と交流する事で、私にとって大きな糧となりました。将来的にはぜひ東京オリンピックに出場できるように今後を走り続けていきたいです。

県身連事業予定

- (1月) 12日(日) 神奈川県聴覚障害者協会 賀詞交歓会... 21日(火) 聴覚部 新春交歓会... 26日(日) 神奈川県障害者スポーツ大会... (2月) 1日(土) 視力部 STT体験会... 7日(金) ピアスポーツかながわ... 15日(土) 初級障がい者スポーツ指導者養成講習会... (3月) 5日(木) 肢体部代議員会... 17日(火) 社会参加推進協議会... (4月) 5日(日) 聴覚部 Go!デフ・ワールド17... 12日(日) 神奈川県障害者スポーツ大会... 26日(日) 神奈川県障害者スポーツ大会...

※問い合わせ 電話：045-311-8736 045-311-8744 [推進センター] FAX：045-316-6860

http://kanagawa-kenshinren.or.jp

編集室から

昨年から自動車の運転をやめて、マイカーからマイホイールチェアに乗り換えたが、寒くなつてから外出が少し億劫になっている。今年には五六年ぶりの東京オリンピックが開催されるが、競技会場や交通機関のバリアフリーが一段と進むことを期待している。

その一方で自ら出かけてその状況を体験しに行きたいと思っている。障害者を不当に差別することを禁止し、障害者が不便を感じないように、合理的配慮を求めた法律「障害者差別解消法」が施行されて今年ほど経過したが、皆さんの周りのバリアに変化はあるだろうか。障害者の皆さん、今年も元気に、積極的に外出や社会参加をして、不便なことに気が付いたら声をあげましょう。

編集委員

遠藤 伸一